

[05-05]九州大学大型計算機センター広報表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/1468009>

出版情報：九州大学大型計算機センター広報. 5 (5), 1972-10-16. 九州大学大型計算機センター
バージョン：
権利関係：

懇談会のまとめ

センターからのお知らせ

- ・指導員とは、指導員講習会を受講したもので、各連絡所（研究室）においてプログラム指導に当たること。
- ・必要ならば各連絡所にも相談員を配置することができる。
- ・希望者には相談員ニュースを配布することができる。
- ・相談員研究連絡会について

現在、連絡所には期日の通知はやっていないが、希望があれば通知できる。希望者には資料等を配付することができる。

- ・指導員研修会について

来年3月の予定である。内容はシステムについてと計算機のオープン使用。

1. FORTRAN 指導員講習会

利用者の希望、苦情など

- 1)センター職員が出張して連絡所で指導に当ることはできないか。

センター職員数と連絡所数からいって現状では無理だ。

原則として初心者教育は指導員でやってほしい。

講習会等を連絡所主催で行ないオブザーバとしてセンターから参加することはできる。

- 2)ターンアラウンドタイムの短縮について

1. 連絡所から個人への時間的ロスが大きいので個人宛にすることはできないか。

郵送であれば個人宛も可能である。9月1日からトラック便を利用する予定であるので、その場合は連絡所送りとなるが、全体の時間は短縮される。しかし、人員の関係で返却の連絡ができない連絡所もあるので、その場合は連絡所と話し合って欲しい。

※ 広島大学の場合Cジョブでターンアラウンドタイムは一週間とのこと

2. 新規穿孔後計算依頼はできないか。

制度としてとりあげていない。

3. カードをセンターに保管しておいて電話で修正後計算依頼ができないか。

管理の面で無理である。

- 3)センター利用等に関する問合せはどこにやったらよいか。

各部所へ問合せしてほしい。なお、センター内の情報の伝達を速やかにする。

- 4)講習会について

くわしくやってほしい。（利用の手引 制御文編）

TSS について（山口大学より）

- ・ファイルの使用トラック数は40トラック以上は認められないのか、

遠隔地の方には40トラック以上も認める。

TSSではE.043を利用することができる。

- ・現 T S S では高い回線料を払って利用するほど価値がないのではないか。

来年度は T S S の時間帯を広げる予定である。

大記憶が増強されるのでファイルを大いに利用できる。

11月より E.072 が提供され、現処理プロのレベルアップとともに BASIC, TEXT EDITOR, FORTRAN X、端末入出力文が提供される予定である。

以上のことにより利用の中も広がり、能力も増すであろう。

2. ALGOL 指導員講習会

今回は利用講習会の申し込み7名、指導員講習会の申し込み6名という少人数でしたので、利用者講習会を指導員講習会に合併して、指導員講習会のみを行いました。

利用者の意見、要望、苦情など

- 1) ALGOL の利用者がなぜ少ないのか、その原因はセンター側にも幾分責任があるのではないか。利用者として次のような点が原因として上げられた。
 - ・カードシステムの ALGOL では、区切り記号に小文字が使えないこと。字数が多くとられる (▼BEGIN, ▼<, :=, (1 など) のので一枚のカードに含まれる情報量が少なくなることなどで使いにくい。
 - ・実行速度が FORTRAN に較べて遅い。
 - ・メーカーがレベルアップや、障害修正に力を入れない。

(現在、障害となっているもの2点 実行時にカード出力ができない LIBE で作成したソースファイルから翻訳できない)
---	--	---
 - ・ライブラリが FORTRAN のようには完備されていない。
 - ・利用者の周囲に FORTRAN 層が多く、ALGOL の指導者が少ない。
 - ・ALGOL の質問に対して回答できるプログラム相談員が少ない。
- 2) FASP 講習会はやっているか
 - ・現在はやっていないが、FASP, COBOL, PL/1 についての講習会をやったほうがよいかというセンター側の質問には回答がなかった。
 - ・ALGOL の講習会についてもやってほしいという強い要望は1名だけだった。
- 3) グラフィックディスプレイ装置が使える時期はいつ頃か、ディスプレイ用マクロを早めに知らせてほしい。ハードコピーをできるようにしてほしい。
 - ・グラフィックディスプレイ装置は概算要求中である。
 - ・マクロ、ハードコピーについては利用者の期待にそうようにできるであろう。

4) 穿孔機の文字配列がもっと使いやすいものにならないか。(特殊記号の文字位置が不自然である。たとえば+と-が離れている)。日立にかなり性能のよいものがあるそうだが、センターでも使えないか。

- ・センターも一度考慮したが、日立の穿孔機は納期に間に合わないということでIBMの穿孔機を納入した。

5) ターンアラウンドタイムについて

広島大学では、ターンアラウンドタイムが長いので、CPU時間の短いジョブ(X, Aジョブ)は九大センターで、CPU時間の長いジョブ(ジョブ)は、大学内の諸算機を使う(徹夜で使ったほうが効率がよい)傾向がみられるということだった。

連絡所からのジョブの処理日数

X, A	1日
B, C	1日~2日
D	3日~4日

なお、センターからのジョブ返送については、センターニュースNo42でお知らせしましたように9月1日よりトラック便が使用できるところはこれを使用して、ターウアラウンドタイムの短縮を計っています。